



新潟県畜産経営指導指標の改訂

新潟県畜産経営指導指標は昭和39年に作成し、以降3年毎に改訂して来ましたが、この度、平成10年の前回改訂から3年が経過したことから13回目の改訂を行いました。

改訂に当たり、県内の畜産関係機関・団体から22名の畜産関係者を酪農、肉用牛、養豚、環境・飼料の各部門の委員として委嘱し、9月7日の第1回委員会以降、述べ13回の委員会を開催して改訂作業を進め、現状の技術水準と経営実態を考慮して3年後を目標とした数値を設定しました。

さらに、今回は経営規模を考慮したふん尿処理方式とそれに伴う必要経費を試算すると共に、平成11年12月に作成した畜産経営指導マニュアルの内容も一部見直し、目標数値を達成するための技術ポイントとして指導指標に併せて掲載しましたので御活用頂きたい。

なお、各経営の目標数値は改訂した項目と従来の数値を踏襲した項目がありますが、畜種別の概要は以下の通りです。

1. 酪農経営

区 分		旧目標数値	新目標数値
生産管理指標	初産種付時(体高)	126cm	128cm
	平均分娩間隔	13.0ヵ月	13.5ヵ月以内
	経産牛1頭平均体重	620kg	650kg
	経産牛1頭年間乳量	8,500kg以上	8,800kg以上
	経産牛1頭年間濃厚飼料給与量	3,150kg	3,210kg
	経産牛1頭年間粗飼料給与量	4,550kg	4,880kg
経営管理指標	自己資本比率	50%以上	50%以上
	流動比率	100%以上	200%以上
	支払利息対売上高比率	5%以下	2%以下
	減価償却費対売上高比率	15%以下	15%以下
	乳飼比(経産牛当たり)	40%以下	40%以下
	所得率	20%以上	20%以上

2. 肉用牛経営

(1) 和牛繁殖経営

区 分		旧目標数値	新目標数値	
生産管理指標	初産種付時(体重)	310kg	340kg	
	平均分娩間隔	12ヵ月以内	12ヵ月以内	
	生時体重	雄子牛	32kg以上	35kg以上
		雌子牛	30kg以上	30kg以上
	出荷時体重	雄子牛	270kg以上	270kg以上
雌子牛		260kg以上	260kg以上	
経営管理指標	自己資本比率	50%以上	50%以上	
	流動比率	100%以上	100%以上	
	支払利息対売上高比率	6%以下	4%以下	
	減価償却費対売上高比率	15%以下	15%以下	
	所得率	30%以上	30%以上	

(2) 黒毛和牛肥育経営

区 分		旧目標数値	新目標数値
生産管理指標	出荷月齢	27.4ヵ月齢	28.0ヵ月以内
	出荷体重	710kg以上	720kg以上
	1日当り増体重	0.78kg以上	0.78kg以上
	格付4以上率	70%以上	70%以上
	事故率	2%以下	2%以下
経営管理指標	自己資本比率	50%以上	50%以上
	流動比率	100%以上	200%以上
	支払利息対売上高比率	4%以下	2%以下
	減価償却費対売上高比率	4%以下	5%以下
	所得率	15%以上	12%以上

(3) 乳用種肥育経営

区 分		旧目標数値	新目標数値
生産管理指標	出荷月齢	17.7ヵ月齢	18.0ヵ月以内
	出荷体重	740kg以上	750kg以上
	1日当り増体重	1.30kg以上	1.30kg以上
	格付3以上率	50%以上	30%以上
	事故率	3%以下	3%以下
経営管理指標	自己資本比率	50%以上	50%以上
	流動比率	100%以上	200%以上
	支払利息対売上高比率	4%以下	2%以下
	減価償却費対売上高比率	7%以下	7%以下
	所得率	15%以上	15%以上

(4) 交雑種肥育経営

区 分		旧目標数値	新目標数値
生産管理指標	出 荷 月 齢	23.0ヵ月齢	23.0ヵ月以内
	出 荷 体 重	750kg以上	750kg以上
	1 日 当 り 増 体 重	1.00kg以上	1.00kg以上
	格 付 3 以 上 率	60%以上	60%以上
	事 故 率	3%以下	3%以下
経営管理指標	自 己 資 本 比 率	50%以上	50%以上
	流 動 比 率	100%以上	200%以上
	支 払 利 息 対 売 上 高 比 率	4%以下	2%以下
	減 価 償 却 費 対 売 上 高 比 率	7%以下	7%以下
	所 得 率	15%以上	15%以上

3. 養豚経営

区 分		旧目標数値	新目標数値	
生産管理指標	繁殖部門	分 娩 間 隔	150日	150日
		哺 乳 開 始 頭 数	26頭以上	26頭以上
		離 乳 頭 数	23頭以上	23頭以上
	肥育部門	出 荷 体 重	115kg	115kg
		1 日 当 り 増 体 量	650g以上	650g以上
		事 故 率	3.0%以下	3.0%以下
経営管理指標	自 己 資 本 比 率	50%以上	50%以上	
	流 動 比 率	150%以上	200%以上	
	支 払 利 息 対 売 上 高 比 率	5%以下	2%以下	
	減 価 償 却 費 対 売 上 高 比 率	15%以下	10%以下	
	所 得 率	15%以上	15%以上	

第3回協同組合まつり

10月14日(日)、新潟市産業振興センターにおいて第3回協同組合まつりが開催されました。

本協会では、BSE質問コーナーを設置して、BSEに対する正しい知識を消費者に説明しました。



BSE質問コーナー：主婦からの質問が多い

また、「環境と調和した畜産をめざして」を合言葉に、県内産堆肥とパネルの展示をして堆肥の利用促進PRを行いました。その一環として、主に一般消費者に対して堆肥に関するアンケートを実施し、700人以上もの方の回答を得ることができました。

今回、畜産や堆肥に対するイメージなどの貴重な意見をまとめましたので一部紹介します。

回答者数 718名

1. 堆肥を利用したことがありますか？

	人数(名)	割合(%)
1. ある	428	59.7
2. ない	271	37.7
3. 不明	19	2.6
計	718	100.0

2. 何に利用しましたか？(複数回答可)

	人数(名)	割合(%)
1. 家庭菜園	276	37.0
2. 花壇	243	32.6
3. 鉢物・庭木	183	24.5
4. 果樹	29	3.9
5. 水稲	8	1.1
6. その他	7	0.9
計	746	100.0

3. 堆肥を利用した理由は？(複数回答可)

	人数(名)	割合(%)
1. 土づくり	341	50.7
2. 有機栽培	68	10.1
3. 環境に優しい	112	16.6
4. 品質が良くなる	123	18.2
5. 扱いやすい	27	4.0
6. その他	3	0.4
計	674	100.0

3. 購入時、何を基準に選びますか？(複数回答可)

	人数(名)	割合(%)
1. 肥料成分	305	47.8
2. 値段	225	35.3
3. 内容量	88	13.8
4. 袋のデザイン	11	1.7
5. その他	9	1.4
計	638	100.0



アンケート調査